

第4回市民説明会での主なご意見

- ◆日にち 平成25年8月31日(土)
- ◆場所 9:30~11:00 佐原中央公民館3階視聴覚室
13:00~14:30 小見川いぶき館301研修室(小見川支所内)
16:00~17:30 府馬・入小保内青年館
 - ・市街地液状化対策事業概要
 - ・液状化対策検討委員会開催状況
 - ・再液状化の検討状況
 - ・液状化対策工法の検討状況
 - ・今後のスケジュール

◆主な質疑内容

内 容	質 問	回 答	
液状化対策事業について	1	液状化対策事業についての復興予算の残額はいくらか。	これまで実施したボーリング50本を含めて、210,000,000円の予算のうち、20,750万円を執行済みであり、残額は250万円です。また、追加で100万円程度の地質調査を発注する予定です。今後の合意形成や事業費については、復興庁へ予算要求する予定です。
	2	復興交付金は、いつまで使えるのか。	平成27年度までです。
	3	マンションや事務所、大規模駐車場があるようなところでは、事業を進めるのは、難しいのではないのか。事業化に向けての手続き等、誰がどのように進めていくのか。	事業化に向けての合意形成に際しては、今の説明会と異なり、もう少し小さい単位で勉強会等を開催していく予定です。
	4	現在、4地区に分けて検討を実施しているが、各地区の具体の窓口はどこになるのか。	液状化対策の担当窓口は市役所3階の都市整備課となります。
液状化対策検討委員会について	5	液状化対策検討委員会に住民の意見を反映できるように、委員会に住民を参加させてもらいたい。	委員会では、多くの個人情報を含んだ資料を取り扱っています。住民の方の参加については、委員の方とも相談し、どのようにするか検討します。
	6	現在の液状化対策事業計画(案)の検討が終わった後は、検討委員会はどのようになるのか。	今後もフォローアップをお願いしていくことを考えています。
地質調査について	7	地質調査を実施しているが、結果はどうだったのか。素人にもわかるように説明してほしい。	地質調査結果については、前回の説明会で説明を行いました。市のホームページでも結果を公表しています。個別に問い合わせいただければ、お答えします。
液状化対策について	8	モデル地区における対策費用の目算時期を教えてください。	次回の説明会で概算工費を提示できる予定です。個人負担については、国との調整により変わってくるため、最終的には12月の説明会で個人負担を含めた事業計画(案)を提示する予定です。

内 容	質 問	回 答	
液状化対策について	9	潮来市では、住民負担の少ない地下水位低下工法を採用し、事業化へ向けて進んでいるようである。香取市では、現在、液状化対策工法について検討を行っているが、香取市と潮来市では、何が異なっているのか。	地盤状況により、適した工法が異なります。例えば、佐原市街地の下川岸地区では、地中に軟弱な粘性土層が分布していることから、地下水位低下工法を採用した場合、圧密沈下という現象により、大きな沈下が生じることが予想され、地下水位低下工法の採用は不適と考えられます。
	10	格子状地中壁工法の場合は、民地側の負担が生じるようであるが、民地に対する支援策はどのように考えているのか。	復興庁などとの協議により、負担軽減に向けて努力していく予定です。
	11	検討中の対策工法は、現在、傾いてしまった家屋に対しても適用できるのか。	液状化対策事業は、傾いた家屋を補修するものではなく、再度の災害による液状化被害を軽減するためのものです。
	12	建物が建っているところへの液状化対策の方法はどのようにするのか。	現在、検討を行っているところです。
スケジュールについて	13	液状化対策費用の算出は、どのように行うのか。	対策工法の検討の中で、格子状地中壁工法については、改良深度や格子形状を定めることにより対策数量と概算工事費を算定します。地下水位低下工法については、止水壁、集水井、ポンプの設置費用と継続的に排水させるためのランニング費用を算出します。
	14	10月下旬予定の説明会では、対策工法と事業費について説明されることでしょうか。また、次回の説明会が最後のものか。	次回は、対策工法と事業費について説明を行う予定です。また、最終的には、事業計画(案)について12月末に説明会を開催する予定です。
説明会について	15	今回説明されたような液状化に関する情報は、これまで地域ごとに流されているのか。また、今後ともこのような情報提供は行われるのか。	山田地区での説明会は、今回が初めてです。今後も随時説明会を開いていく予定です。
	16	開催案内の回覧文が1ヶ月以上前に届いており、開催月を勘違いする人が出ている。	地区ごとの事情に配慮し、開催案内の配布方法等について検討します。
	17	今回のような説明会資料は、事前に配布してもらえば、住民の方も興味を持ち、参加者も増えるのではないのか。	現在の説明会は、液状化対策検討委員会後のできるだけ早い時期に行うこととしています。このため、事前に資料を配布することは難しいですが、事業化に向けた合意形成のための勉強会などでは、資料の配布方法について検討します。
	18	画面での説明は、カラー表示で行っているが、配布資料は白黒印刷のためわかりにくい。また、説明文の文字が小さくて見づらいところがある。	カラー印刷を含め、できるだけわかりやすくするようにします。